



龍司さんを囲んだ最後のバーベキュー (7月28日 於：水無瀬川河川敷)

感謝

# 水上の友

発行 社会福祉法人  
大阪水上隣保館  
〒618-0001  
大阪府三島郡島本町  
山崎5丁目3-18  
発行人 黒川 芳 朝  
編集 広報委員会  
法人事務局 075-961-0711  
F A X 075-961-1144  
<http://www.osakasuijyorinpokan.com/>  
印刷所 (有)木村桂文社

### 龍司への思い出

卒園生 鈴木 鉄平

九月二十六日、仲の良かった龍司が三十四歳の若さで亡くなりました。龍司が隣保館に来たのは一歳半くらいと聞いていますが、物心ついた頃には同い年ということもあり、気の合う兄弟のような存在でした。

幼稚園の時は、龍司と鼻を垂らしながら粘土で遊んだし、小学校では二人して駄菓子屋で万引きをし、帰ってかから先生にひどく怒られ、中学校では学校をさぼり竹やぶで煙草を吸ったりしたことを思い出します。

隣保館の生活は、お互い先生方に迷惑ばかりかけていましたが楽しかったです。中学卒業後は、別々の道を歩みつつも連絡を取り合いましたが、龍司が滋賀県に引越しをしてから会うのは年に数回程度でした。

龍司は、隣保館の卒園生が困っていると相談にのってやり、行く所がないと分かる自分の家に泊めたりする優しい奴でした。

数年後・気がつけば隣保館の時と

二〇一四年標語  
人にしてもらいたいと思うことは何でも、  
あなたがたも人にしなさい  
—新約聖書マタイによる福音書 七章二節—

同じように、同じ家に住んで、同じ電気屋の仕事をしていました。おれの人生でこんなに長い付き合いの友達は、龍司をおいて他にいません。

今年の六月、龍司が背中が痛いと言出し、病院に行き検査した結果、末期の肝臓癌で余命三ヶ月と診断された時は本当にショックでした。

入院する前の七月末に、隣保館にいた頃によく遊んだ水無瀬川の河川敷で龍司を囲んでバーベキューをしました。彼の病状を知った地域の同級生や隣保館の先生、卒園生など百人もの人が集まり盛大なバーベキューとなり、龍司も本当に楽しそうでした。

入院してから龍司の人柄なのか、隣保館の卒園生や龍司のこれまで出会った人たちが毎日お見舞いに来てくれました。隣保館にいる時からお世話になってる里親さんも、何度もお見舞いに来られ、個室費用の負担を下さったことは本当に有り難いことでした。

入院当初の奴は本当に元気で、何回も病室を抜け出しては煙草を吸って看護師さんに怒られ、隣保館の時と同じ龍司でした。

でも、次第に体に変化が出てからはベッドから離れられなくなり、皆で当番を決め、毎日順番で付き添いの泊まりをしました。そんな時も、自分がし

んどくても痛くても絶対に弱い姿を見せない、逆に人を元気にさせる龍司は最高にカッコイイ奴でした。龍司を気にかけてお見舞いに来てくれた皆さん、本当に有り難うございました。

龍司の思いは、きっと、血が繋がっていないなくても皆が「家族」「兄弟」であり「友達」であったと思う。残されたおれたちが龍司の分まで生き、この絆をずっと繋げていけたら良いなと思っています。

### クリスマス

#### おめでとうござります

わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。  
友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない。

—ヨハネによる福音書 一五章二節—

私たちを愛し生命を与えて下さった神様は、私たちも同じように人を愛し人のために自分の生命(時間)や賜物を使うことを命じておられます。

クリスマスと新年を迎えるにあたり改めて私たちの生き方を問い直したいと思えます。

一年間、多くの皆様から賜りましたお支えに心より感謝申し上げます。

二〇一四年が皆様にとって良き一年でありますように心より祈っております。

社会福祉法人 大阪水上隣保館



カット絵・中三 優花

楽しかった夏休み

がんばったよ！ 小四 女子

亀岡市の七谷川キャンプ場に行きました。ばんごはんの時、ほうちょうようを使うのがこわかったけど、みんなで協力して作ったカレーは、ちよっとシャバシャバだったけど、おいしいかったです。

二日目に、けっか発表があつてドキドキしたが、私達のはんは、一位でした。がんばったかいがあつたと思いました。



来年も行きたい 小三 女子

小学生キャンプに行つて一番楽しかったのは、夕食のカレー作りです。自分たちで火をおこすのはすごく大変だったけど、火が着いた時すごくうれ

しかったです。

みんなでがんばって作ったカレーはとてもおいしかったです。次に楽しかったのは、いろんな所にかくされたカードを探すオリエンテーリングです。そのあとに食べたアイスがすごくおいしかったです。来年も行きたいです。

メッチャ楽しかった 小六 女子

七月三十日から京都にある大森リゾートキャンプ場に行きました。一番いんしように残ったことは、服を着たまま川を歩くシャワークライミングです。

なぜ心に残ったかというと、登っている時にヘビが出たり、ゴールの渾みたいな所でみんなで頭を水につけて神さまみだいにしたり、楽しかったからです。帰る時には犬やねこがいました。そのキャンプ場では馬も飼っていました。メチャ楽しかったです。

新聞にもつたよ 小三 男子

ぼくは、丹波運動公園に低学年のキャンプで行きました。

一日目の夜に星や月を見て天文台に行き、よく学べたな一と思ひます。望遠きょうで見たら大きく見えてすごかったです。

そのすがたをつぎの日の京都新聞にのせてもらいました。うれしかったです。楽しいキャンプでした。

マートン選手来園!

残暑厳しい八月三十日、シーズン中にもかかわらず、阪神タイガースのマートン選手ご夫妻が子ども連れで隣保館に来てくれました!

会場には、一五〇名を越す子どもたちでいっぱい。マートン選手の姿を見るなり「マートンコール」大興奮です! 通訳は今回ご紹介下さったライフチャーチのジョエル牧師。マートン選手の体験から来るお話は心に響きました。「信じるのが大切」「失敗を恐れてはならない」子どもたちも真剣に聞き入っていました。これもマートン選手の子どもたちに対する熱い思いがあつてこそだったと思います。

(遙学園主任 大島弘之)



社会福祉法人 大阪水上隣保館

理事長	元大阪府教育長 (学)山崎学園理事長	理事	井	理事	衣目	理事	早川	理事	妹尾	理事	須賀	理事	石	理事	延	理事	早川	理事	須賀	理事	石	理事	延	理事	早川	理事	須賀	理事	石	理事	延	理事	早川	理事	須賀	理事	石	理事	延	理事	早川	理事	須賀
-----	--------------------	----	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	----	---	----	----	----	----	----	---	----	---	----	----	----	----	----	---	----	---	----	----	----	----	----	---	----	---	----	----	----	----

児童養護施設通学局長	児童心理治療施設ひびき施設長	大阪水上隣保館乳児院長	特別養護老人ホーム弥栄の郷施設長	山崎学園	藤の里保育園	大阪保育福祉専門学校	大阪水上隣保館附属診療所	山崎学園	山崎学園
------------	----------------	-------------	------------------	------	--------	------------	--------------	------	------



▼生まれる場所も親も選べない子どもたちに一番にしわ寄せされる社会のあり様やゆがみを何とかしなければと、私達大人の責任を感じています。

大阪市 大橋貴美子

▼中村春雄さんの記事を読み、最初の六行には胸が詰まりました。

反抗しながらも二十六才には親方にならぬ、人を使うまでにならぬこと、ご自身の自立への強い気持ちもさることながら館の先生方の愛情の深さにも心打たれました。

島本町 齊藤 悦子

▼卒園の方々が寄稿されて、素晴らしいメッセージを残されていますが、この施設で生活したことが一生の宝物になったと感じていらっしやる様子が伝わってきます。「人が生まれるには理由がある」巻頭の中村氏が八重子ママ先生から教えられた精神のようですが、その通りだなと実感します。

東京都 吉田 裕美

▼卒園生の皆様の手記を読み感動しています。ここまで育てられた先生方に本当に私からもお礼を言いたいです。皆それぞれに独立して立派になられて、先生方の恩は、海よりも深く山よりも高しですね。

京丹後市 相見 寿一

▼館の先生方がなげなくかける一言一言が子どもたちの心に深く生きて卒

園してからの長い人生をまっすぐ強く歩む力になっていくことを感じました。いつも感動をありがとうございます。

大阪市 渡口差知子

▼すべての子どもたちが人としての大切な気づきと学びがありますように心から祈っています。感謝。

羽曳野市 有井美栄子

見学訪問団体芳名

(二〇一二年十一月〜二〇一三年十月)

- ・寝屋川市民生・児童委員協議会主任 21名
- ・児童委員連絡会 21名
- ・新文化散歩の会 20名
- ・同志社女子中学校・高等学校 34名
- ・同種感謝祭(花の日訪問) 34名
- ・矯正研修所大阪支所 34名
- ・大阪女学院女子中学校・高等学校 36名
- ・関西学院大学 35名
- ・サントリー研究所 23名
- ・近畿中学校長会生徒指導専門委員会 6名
- ・岡山県児童養護施設等協議会 20名
- ・島本町人権教育研究協議会 40名
- ・(東京)児童養護施設形学園 8名
- ・豊中市立第十五中学校青少年健全育成会 16名
- ・南河内ブロック民生・児童委員協議会 21名
- ・島本町青少年指導員 11名
- ・大阪府立福井高等学校 40名
- ・大阪体育大学健康福祉学部 11名
- ・摂津市幼小生活指導研究協議会 10名
- ・堺子ども青少年局子ども青少年育成部 5名
- ・高槻市赤大路地区民生・児童委員会 16名
- ・大阪弁護士会子どもの権利委員会 16名
- ・平安女学院大学短期大学部保育科 72名
- ・乙訓地方小学校教育研究会社会科部会 26名
- ・桃山学院大学社会福祉学科 40名
- ・栗東市民生・児童委員協議会連合会 15名
- ・枚方市児童虐待問題連絡会 20名
- ・児童養護施設アミーティホーム光都学園 6名

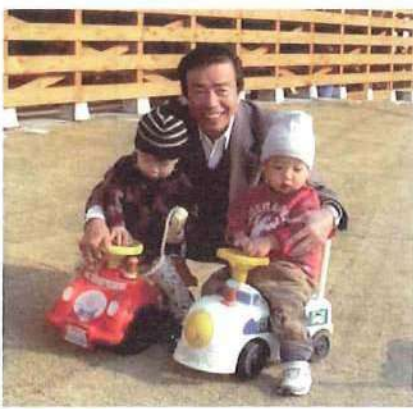
北條正治先生追悼礼拝

常務理事北條正治先生は八月九日逝去され、十月六日(日)、当法人理事早川須賀子牧師の司式の下、「追悼礼拝」がゆりの礼拝堂にて執り行われ、その後、「お別れの会」が大阪保育福祉専門学校で開かれました。

本葬儀に参列できなかった卒園生や卒業生、旧職員等約三百名の方が参列されました。

大阪水上隣保館の常務理事として大きな役割を担い、永年にわたる尊い働きに、心より感謝する祈りを捧げました。

なお、本葬儀は、八月十一日、ご家族によって営まれました。当法人や行政、福祉関係者約五百名の弔問者が北條先生をお見送りました。



北條先生を偲ぶ

児童養護施設の常照園、和泉乳児院長、和泉幼児院長を経て、中村八重子理事長に乞われて遙学園長に就任されたのが一九九〇年。その後、事務局長、評議員、理事、常務理事と歴任され、二〇〇九年から当法人の専門学校長も兼務し「愛ある働き人」の養成にも尽力されるなど、当法人の柱として隣保館を支え発展に尽くされました。

ご葬儀やお別れの会で多くの方が思いを語られましたが、北條先生は人を大切に、人の困難をほっておけない、真に「福祉の人」であったと思います。まだまだご活躍を望んでいた私たちにとって痛手は大きなものですが、北條先生は、天上から水上隣保館や私たちをこれからも見守って下さることを思います。(法人事務局長 村瀬 愛)

訃報

- 徳光 憲さん(七月二十二日召天)
  - 「花外楼」会長・当法人前評議員
  - 北條正治さん(八月九日召天)
  - 当法人常務理事
  - 佐藤龍司さん(九月二十六日召天)
  - 遙学園卒園生
- 御霊の上に神様の祝福が豊かにありますようにお祈り致します。

遙 学 園

十一年ぶりに近畿大会制覇

大阪府児童養護施設野球大会で優勝し、八月九日に行われた近畿大会に出場しました。この大会は、各府県の予選を勝ち抜いてきた八チームによる、ハイレベルな大会です。

大阪府大会で自信を深めた選手たちは、臆することなく全力でプレーをしていました。ですが、相手も強豪チーム。リードを奪われる苦しい場面の連続でしたが、選手たちは弱音を吐かず心を折られることなく戦い続けました。試合に出た選手も控えの選手も全員が各自の役割を果たし、なんと十一年ぶりに優勝することができました。

素晴らしい結果も、野球の実力以外に「すねない」「キレない」を苦戦を強いられた場面でも発揮できたのが大きかったのではないのでしょうか。

最高の結果を収めたチームも七名が中学三年生のため引退、新たなチームとして来年に向けて始動しています。野球を通じて大きく成長してくれる姿を想像しながら、練習に励んでいます。

(児童指導員 原田太喜)

僕は、大阪大会に続き近畿大会でもピッチャーとして出場しました。一回戦は京都代表チームとの試合ですが、相手も勝ち上がってきたチームなので



川口島本町長に優勝の報告

強いと思ったけど、初回から攻めて大差で勝つことができました。

二回戦は奈良県代表チームです。今回の大会で一番苦しかった試合でした。初回に先制点を取られ苦しい展開になったけれど、チーム一丸となって点を取っていき、勝利しました。

決勝の相手は兵庫県代表チーム。三試合目ということもあり、しんどかったのですが、優勝したいの思いから全力でプレーすることができました。今回優勝できて本当に嬉しかったです。みんながいてくれたから、できたのだと思っています。

今大会で僕は野球部を引退しますが、このことを忘れずにこれからも普段の生活など頑張っていきたいと思います。

(中三 男子)

児童心理治療施設

ひびき

富士登山

世界文化遺産に選ばれ、今話題の富士山に遙と合同で登ってきました。

普段室内で過ごすことの多いひびきと遥。序盤から遙の子どもたちを置いて行かれてしまい、体力の差に驚きを隠せないようでした。それでもめげることなく黙々と自分たちのペースで登ることができました。早く到着した遙の子どもたちが引き返してくれて荷物を持ちたり背中を押したりと、ひびきと遥を支えてくれました。

遙・ひびきの垣根を越えて、助け合い励まし合いながら過ごした三日間。普通の生活では見ることのできない子どもたちの様々な新たな一面を発見することができました。

子どもたちにとっても印象深い行事になったのではないかと思います。

(ケアワーカー 岩崎 優)

つい最近世界遺産になった富士山に登れると思うと、前の日は眠れませんでした。

夜の十一時にバスで出発する時、先生たちが見送ってくれました。バスの中では皆も緊張しているのか、あちこちで寝返りをうったり、モソモソと動いていたりしました。



多くの登山者とともにご来光を仰ぐ

やっと静岡について浅間大社で登山祈願をしました。五合目まではバスで移動、その後朝食を食べ登山開始です。最初は「楽勝♪」と思っていたけど、登っていくごとに酸素が薄くなって、少し歩いただけで息切れがし、とてもしんどかったです。長い時間かけてようやく九合目まで来た時には暗く、急いでご飯を食べて寝ました。

夜中に山頂を目指し登りましたが、メッチャしんどくて、坂のところでは生が背中を押してくれたので頑張った山頂まで行けました。

(中三 女子)

# 乳 児 院

♥ “顔”ができたよ!

二歳八ヶ月のK君、お散歩でひろった小さい葉っぱが二枚手から落ちてしまいました。一緒にいたRくん「あっ!」となにかをさがしに行きました。すると細長い木の枝をさつき落とした葉っぱの下に置き、「めーくち!」と言っています。顔が想像できるなんて……天才!  
(保育士 植山三渚)

♥ バナナがむけた

Aちゃんが一歳のとき、頭から足先まで震える位に力を入れて皮を剥き、ミンチ状にしてみました。二歳二ヶ月の今はスーと剥き、白い筋も丁寧に取れるようになりました。  
(保育士 今道さやか)

♥ あまえんぼうさん

担当がいると抱っこしてと両手を出してきて歩いてくれません。こっそり遊んでいる部屋を覗くとみんな歩きまわって遊んでいるのに、まだまだ、甘えたい乳児院の子どもたちです。  
(保育士 坂下美穂)

♥ ねんねよ!

お友達の話が大好きなKちゃんが抱っこぬいぐるみを配っています。「Eちゃんのぶたさん、(こ)よ!」「Bちゃんのアイアイ、あったよ!」とお

居寝の準備をして最後に「Kのアンパンマン!」と抱きしめて横になつていきます。  
(保育士 北條敦子)

♥ 嬉しい毎日

四月から勤務して最近やっと、困った時やネンネの時に来てくれるようになりました。「いかちーちゃん!」と呼んでくれ、ますます可愛く感じる毎日です。  
(保育士 石坂博子)

♥ 楽しい遠足

駅を降りるといるかの風船を持った親子を見て「いるかさーん!」と追いかけて行き、見失ってしまい少しさびしそうでした。海遊館に入り、本物のいるかを見つけると大興奮!「いるかさーん!」、Rちゃんのいるかさーん!と、とっても嬉しそうにガラスに貼りつき、二十分程ずっと見ていました。  
(保育士 杉本安有美)



# 特別養護老人ホーム 弥 栄 の 郷

ビアホールへ行きました

八月の夕暮れのひとつとき、ビールを飲みにご家族様も入り数名で出かけました。場所は結婚式場で、夜はマジックショーなどが楽しめます。

皆さん、普段とは違った式場の雰囲気に興奮気味でした。乾杯後、バイキング料理をつつきながらSさんは、職員が「もうやめときましよう」と何度も言うも「もう一杯だけ」とたくさん飲まれ、満面の笑顔で帰りました。お年寄りには元気で僕たちはへとへとで帰ります。でもすぐ何となく幸せな気分になり「次何処に行こうか」と場所探しをします。(介護職員 中 克彦)



敬老祝賀パーティー



九月十五日、日頃お世話になっていきますファミリークラブ、ポラントニアの皆様のご参加を頂き、敬老祝賀会が開催されました。

もちろん主役は、利用者様、ご家族様です。一部は、恒例のセレモニー。二部は、遙学園・ひびきのダンス・歌と楽しみの「エイサー」です。子どもたちのかけ声に、利用者は手を打ち感極まって涙。「ありがとう」もたくさん。次に職員の玄人はだしの「おてもやん」誰だか分かりません!飛び入りの炭坑節もあり、職員紹介と理事長の挨拶で敬老祝賀会は終了です。昼の会食は、厨房職員の腕をふるったバイキングで、利用者、職員とも食べ過ぎました。全ての方々に感謝感謝です。

(介護職員 小川朋子)

山崎保育園



さんま☆パーティー

保専グラウンドで行った今年度の運動会は、たくさんのお客様に観に来ていただき大盛況でした。その中で「さんまカーニバル」を踊ったクラスは、後日、園庭でさんまパーティーを開きました。子どもたちは前日から「さんまが食べられる」とワクワク。

焼き始める前に生のさんまを見せると「うわ〜」と歓声を上げ興味津々。七輪の炭火で焼いていくと、煙とともにいい匂いがしてきて、子どもたちのワクワク感も最高潮！そして焼きだてのさんまを口に入れ、「おいしい〜」と満面の笑みを見せていました。

楽しかった運動会の思い出とともに、おいしく秋の味覚を体験できたひとときでした。  
(保育士 木村 亨)

藤の里保育園



ありがとうあくしゅ

年長クラスは、九月の敬老の日になんで地域のデイサービスを訪問しました。

初めての場所で、ドッキドキでしたが、利用者の方から、手拍子してもらい、いつもより気合が入ったソーラン節を披露することができました。その他にも、「焼肉タンタンの歌」や「はにだんダンス」も披露しました。

この日は、「小粒亭黒豆」さんも来られ、小断を披露していただきました。小断の中で、出題された問題を利用者の方々と問答しながら子どもたちも楽しんでいました。短い時間でしたが、おじいちゃんおばあちゃんとふれあう時間が持て、とても貴重な体験ができました。  
(保育士 宮内まどか)

山崎幼稚園



今日は、何して遊ぼう？

「室内遊びの環境づくり」について職員で話し合い、コーナー遊びの充実を図る保育室づくりを念頭に模様替えをしました。各々の遊びが保障されることで遊びの広がりや発展が見られるようになり、ごっこ遊びがより盛んになりました。

また、年齢に応じて「まんだら塗り絵」や花遊び(おはじきを紐に通す遊び)、ラQ、レゴブロック遊びを新たに取り入れ、工夫する力、集中力などを高めています。

外遊びやリズム運動で身体を思い切り動かす「動」と、保育室でじっくりと取り組む「静」の遊びとをバランス良く取り入れ、遊びの環境づくりを心がけていきます。  
(主事 佐古博子)

大阪保育福祉専門学校



HOSENニ子育てスクール

保専では、毎年八月実施の子育てスクールとは別に、もっとゆったり親子で楽しんでもらうために、ミニ子育てスクールを開催しています。

今年のプログラムは、「親子de体育遊び(六月)」と「親子deクッキング(九月)」。各回、約二十組の親子が参加されます。お馴染みさんも数組あり、アシスタントの学生たちと親しげに会話をされていたり、見ず知らずの親子同士が仲良くなっていく雰囲気はミニならではかなと思います。

参加者からは、「工作、科学遊び、BQ」などのリクエストや、「隔週で欲しい」という声もあります。小さな企画ですが、丁寧に取り組んでいこうと思います。  
(副校長 植田彌生)

在宅養育支援センター  
みゆき園



ラジオか！ CDか！

送迎で乗る車が大好きなみゆき園の子どもたち。お互いの関わりは少ないのですが、車の中ではCDから流れる曲をみんな楽しそうに聴いています。Fくんも車が大好きですが、CDから曲を聴くのは少し苦手です。ある日のこと、みんなと一緒にFくんも車に乗せて家まで送って行った時F君の好きな曲がラジオから流れていました。ラジオ嫌いなAくんは、最初がまんして聴いていましたが、Fくんのことを感じてCDから流れる曲の音量をかなり落として聴いています。そのとき私は、Aくんの優しい気持ちにふれ、とても温かい気持ちになりました。(生活支援員 河村寛子)

ファミリーポートひらかた



すくすくぼうけん島

ポートでは、来春の入園を前に不安になっている親子に自信を持ってもらえるよう、工夫をこらしています。固定メンバーで四回シリーズ(年三回)の「すくすくぼうけん島」は好評で、定員(一〇組)以上の申し込みが来ます。常に一緒に参加することで、皆が仲良くなり協力関係ができます。親は他の子どもたちを見て、自分の子どもの特徴や成長を認めるようになり子育てが楽しくなるようです。また、「パフバルーン」や「ミニ運動会」、「小麦粉粘土」など、親子で楽しむプログラムも行っています。一緒に遊んで楽しい！を体験して、温かい親子関係を築いてほしいと願っています。(副センター長 坂田恭子)

ファミリーポートたかつき



エプロンから…ワァッ

二〇〇六年十月、ファミリーポートたかつきがスタートし、八年目を迎えました。月に楽しいイベント「お話し会」・「伝承あそび」・「親子であそぼう」など、盛りだくさんの行事を取り入れています。そのひとつ「親子であそぼう」は藤の里保育園の保育士も協力して開いています。十月の催しでは、カレーライスのエプロンシアターをしました。人参やじゃが芋が出てくると「ワァー」と驚きの表情がとて子どもも楽しく微笑ましかったです。これからも、親と子が気軽に参加でき、子育ての喜びを共有し、ほっとできる時間を過ごせるよう、スタッフ一同頑張りたいと思います。(保育士 石原智香)

つどいの広場「ばんだのいえ」



親子でわらべ唄

「ばんだのいえ」では月に一度「わらべ唄で遊ぼうDAY」を設けています。伝承遊びの一つで、昔から口伝えで歌い継がれてきた遊び歌です。「上から下からおおかせこい」と布をふわふわさせると赤ちゃんもここに笑顔になります。初めて聞くわらべ唄でも懐かしさを感じ、ゆったりしたフレーズと一緒に口ずさみながら、お子さんと心穏やかなひとときを過ごしていただいています。お家でもご機嫌斜めの子どもをあやす時などに、親子で触れあえる「わらべ唄」が少しでもお役にたてれば…という思いで、これからも色々なわらべ唄を紹介できたらいいなと思っています。(センター長 中川美奈子)

社会福祉法人 大阪水上隣保館 [児童福祉 83 年]

# 大阪保育福祉専門学校

〒618-0001 大阪府三島郡島本町山崎5-3-10 TEL.075-962-1115 FAX.075-962-9001

お問い合わせ・お申し込みは



▶お電話で

クイック フォクス

0120-919-294

▶メールで

ケータイからもOK!

pub@o-hosen.ac.jp

▶QRコードで

ケータイサイトから



山崎幼稚園



専門学校・本館



専門学校・オリーブ館



専門学校・中村記念館



児童養護施設 通学園



児童心理治療施設 ひびき



山崎保育園

緑豊かな丘陵部に  
創設者の思いが繋がる  
子どもと高齢者の施設が立ち並んでいます



ばんだのいえ



みゆき園



さくら館



藤の里保育園 (高槻市)



ファミリーポート  
たかつき

ファミリーポート  
はるか



専門学校のキャンパス内に、  
大阪と京都の府境界があり、  
校舎によっては  
大阪府だったり京都府だったり。  
大阪からも京都からも  
とても便利な学校です！



大阪水上隣保館乳児院



大阪水上隣保館附属診療所



地域交流センター・ゆりの礼拝堂



特別養護老人ホーム 弥栄の郷



子ども家庭支援センター・  
ファミリーポートひらかた (枚方市)



ファミリーポート サブリ牧野

豊かな自然環境の中でキリスト教の愛の精神に基づいた人格形成をします

# 山崎幼稚園

〒618-0001 大阪府三島郡島本町山崎5-3-1 TEL.075-961-3341 FAX.075-961-7296

ホームページ <http://www2.yamazaki-k.e>